

名古屋大学医学部附属病院



病院長名	小寺 泰弘
所在地	〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地
交通案内	JR 中央線「鶴舞駅（名大病院口）」下車 徒歩 3 分 名古屋市営地下鉄「鶴舞駅」下車 徒歩 8 分

□ 病院の特徴

名古屋大学では全国トップクラスの専門的かつ高度な外科診療を行ってきた。一方、関連病院においても地域のニーズに可能な限り答え、一般的な治療から高度な治療まで様々な外科診療を提供し、その中で専攻医もたくさん手術経験や周術期管理を行ってきた実績を持つ。

近年では外科系診療科が一つのチームとして本専門研修プログラムを運用し、診療科の垣根を越えて外科教育や医局説明会（名大ゲカナビ：<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/surgery2/gekanavi/>）に取り組んでいる。

また名古屋大学医学部附属病院メディカル xR センターは全国でも有数のシミュレーターを保持しており、医療機器の歴史を学ぶこともできる。近年は VR や AR などの技術も相まって Off the job training の Dx 化も推進している。

□ 研修プログラムの特徴

本プログラムでは専攻医に積極的に手術を経験してもらうことで早期から手術に慣れ、その後の高度なサブスペシャリティ領域の研修にスムーズに移行できることが特徴です。

【研修プログラム名】

名古屋大学医学部附属病院外科専門研修プログラム

【研修目標】

- ① 外科領域の専門的診療能力を習得するとともに、初期臨床研修で学んだ医師として必要な基本的診療能力についてもより向上させ実践できるようになること
- ② 外科領域に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- ③ 専門性の高い領域への診療や研究への参加を通じ、リサーチマインドをもった外科専門医となること。それにより将来の医学へ貢献できる人材を育成すること
- ④ 外科専門医の育成を通して僻地を含む地域医療に貢献すること
- ⑤ 外科領域全般からサブスペシャリティ領域の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと運動させること

【研修期間】 3 年

【研修スケジュール】

年次	各領域の経験：目標症例200例以上（術者30例以上） 病理/麻酔/救急研修 外傷の修練（症例経験もしくはE-learning等・5点以上） 医の倫理や医療安全についての講習受講 学術発表 5単位以上	連携施設
1年次		
2年次	各領域の経験：目標症例350例以上（術者120例以上） 内視鏡外科修練開始 外傷の修練（症例経験もしくはE-learning等・10点以上） 学術発表 20単位以上	連携施設
3年次	不足症例について各領域をローテーション サブスペシャリティ領域の研修開始 大学院コースの研修開始 （臨床・基礎研究開始）	基幹施設 および 連携施設

□ 主な連携施設

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、大垣市民病院、安城更生病院、豊橋市民病院、中京病院、小牧市民病院、市立四日市病院、豊田厚生病院、一宮市民病院、岡崎市民病院、春日井市民病院、名古屋掖済会病院、公立陶生病院、江南厚生病院、名古屋医療センター、半田市立半田病院、静岡済生会総合病院、県立多治見病院、海南病院、中東遠総合医療センター、総合上飯田第一病院、公立西知多総合病院、中部労災病院、遠州病院、協立総合病院、大同病院、八千代病院、旭労災病院、名鉄病院、名古屋記念病院、久美愛厚生病院、中濃厚生病院、津島市民病院、東海病院、西尾市民病院、静岡厚生病院、碧南市民病院、渥美病院、名古屋トリアル病院、常滑市民病院、豊橋医療センター、名城病院、中津川市民病院、東海中央病院、東濃厚生病院、山下病院、稲沢市民病院、国立長寿医療研究センター、愛知県がんセンター愛知病院、愛知県がんセンター中央病院、静岡県立静岡がんセンター、国立がん研究センター東病院、あいち小児保健医療総合センター、愛知県医療療育総合センター、トリエ記念病院

□ メッセージ

指導医 消化器外科学 教授 小寺 泰弘

名古屋大学医学部附属病院外科専門研修プログラムでは、これまでに当大学の外科系診療科（消化器外科Ⅰ、消化器外科Ⅱ、心臓外科、血管外科、呼吸器外科、乳腺内分泌外科、小児外科、移植外科）と人員の配備や診療体制の面で密に連携してきた 60 近くの施設と専門研修施設群を構成しています。この施設群では、これまでも後期研修医が多くの症例を経験できるような充実した指導を行い、かつ地域医療を支えてきた実績があります。当プログラムでは、多数の幅広い施設と連携することで、



こうした指導実績を継承しながら、専攻医が自分の研修ニーズにあった研修をすることができる事が特徴です。また、基幹施設である名古屋大学、がんセンター、小児専門病院などの専門的な医療機関でも研修が可能なため、専攻医が将来目指しているサブスペシャリティ領域について、より高度な研修を行うとともに研究等にも携わることができます。私たちのプログラムでは、地域医療と高度な医療をバランスよく研修したい方や、将来の医療を支えるリサーチマインドをもった外科医を目指したい方を広く募集します。

□ 募集要項

・採用予定人数	10 人
・給与/月額	月額約 20 万円に加え、該当する場合に手当（通勤手当、超過勤務手当、夜勤手当、特殊勤務手当（夜間診療業務手当等））を支給
・当直回数/月	約 2-3 回/月
・当直料/回	20,000 円/回
・その他	平日日勤帯の外勤等（週 1 日まで）可
・応募連絡先	担当者 高見秀樹 電話番号 052-744-2249 Eメール gekasenmon@med.nagoya-u.ac.jp